

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年2月28日 (2008.2.28)

【公開番号】特開2002-111624(P2002-111624A)

【公開日】平成14年4月12日 (2002.4.12)

【出願番号】特願2000-303092(P2000-303092)

【国際特許分類】

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

H 0 3 H 21/00 (2006.01)

H 0 4 B 3/04 (2006.01)

H 0 4 H 20/00 (2008.01)

【F I】

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 3 H 21/00

H 0 4 B 3/04 A

H 0 4 H 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月8日 (2008.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

F F T 回路より前段に受信 O F D M 信号の波形を適応的に波形等化するフィルタを具え、前記 F F T 回路より後段において抽出したパイロット信号を I F F T 処理した信号と、予め受信装置内に記憶されている送信パイロット信号を I F F T 処理した信号との差分信号によって、当該差分信号が最小となるように前記フィルタのタップ係数を制御するようにしたことを特徴とする O F D M 信号受信装置。

【請求項 2】

F F T 回路より前段に受信 O F D M 信号の波形を適応的に波形等化するフィルタを具え、該フィルタから出力される信号と、予め受信装置内に記憶されている送信パイロット信号を I F F T 処理した信号との差分信号によって、当該差分信号が最小となるように前記フィルタのタップ係数を制御するようにしたことを特徴とする O F D M 信号受信装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明 O F D M 信号受信装置は、F F T 回路より前段に受信 O F D M 信号の波形を適応的に波形等化するフィルタを具え、前記 F F T 回路より後段において抽出したパイロット信号を I F F T 処理した信号と、予め受信装置内に記憶されている送信パイロット信号を I F F T 処理した信号との差分信号によって、当該差分信号が最小となるように前記フィルタのタップ係数を制御するようにしたことを特徴とするものである。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

また、ＦＦＴ回路より前段に受信ＯＦＤＭ信号の波形を適応的に波形等化するフィルタを具え、該フィルタから出力される信号と、予め受信装置内に記憶されている送信パイロット信号をＩＦＦＴ処理した信号との差分信号によって、当該差分信号が最小となるように前記フィルタのタップ係数を制御するようにしたことを特徴とするものである。